

(別紙3)

和歌山県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ
技術名	夜間銃猟における効果的な誘引方法
実証地域	紀美野町旧美里地区
実証時期	令和3年11月～令和4年2月

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

夜間銃猟では、事前に射撃ポイントにニホンジカを誘引し、捕獲の際に車両で射撃ポイントに近づき、ニホンジカであることを確認後、捕獲している。しかし、トレイルカメラでの確認では、車両の接近に伴う走行音等に伴いニホンジカの誘引が低下している状況がみられた。

3 地域実証する技術の概要

射撃ポイント付近に音響装置を設置し人工音を発生。周辺のニホンジカをこれに慣れさせることで警戒心を緩和し、射撃ポイントにおいてニホンジカの誘引数の減少を防ぐことで、捕獲数の向上につなげる。

4 具体的な実証の方法・内容

【方法及び内容】

夜間銃猟の実施場所は通常夜間の車両等の通行が皆無であるため、捕獲時の車両の走行音等が誘引を阻害している可能性がある。

そのため、路線の一部（今西地区）を検証区間とし、餌付けによる誘引開始と同時期からその区間の射撃ポイントに音響装置を設置し、音響装置（ラジオ）からの人工音を放出する。併せて、側に設置したトレイルカメラにより、ニホンジカの出没及び誘引・行動状況を確認しながら、適切な捕獲時期を決定し、捕獲を実施する。

【結果及び評価等】

1. 結果

- ・検証初期はラジオの音声に警戒しているシカもいたが、徐々に警戒しなくなった。
- ・夜間銃猟の1回目では、実施時間に設置箇所での出没が確認でき、捕獲も成功した。この他、5回目についても実施時間に設置箇所での出没が継続されていた。
- ・それ以外の実施日では、実施時間において設置箇所での出没確認ができなかった。
- ・一方で、ラジオ電源が電池であり、1回の使用可能期間は終日使用では1～2週間と判明したため、効果持続には都度の電池交換に係る労務負担や電池代（1,500円/回）の費用負担が想定よりも多くなった。

2. 評価

- ・1回目は設置場所での出没・捕獲ができたことから、ラジオ音による音慣れによる、

警戒心の低下効果も一部作用した可能性がある。

- ・一方で、実施前に2回程度の給餌であったことから、給餌直後は出沒が多いものの、餌の消失と共にその後の出沒が少なくなったため、銃猟実施日までのラジオ音声による慣れの効果の維持を確認することが困難であった。
- ・また、効果の維持においては、電池交換が伴うことから、給餌の頻度と併せたスケジュール調整が必要であり、また効果継続にあたり実施期間中の電池の費用負担をも考慮する必要がある。
- ・これらの傾向を踏まえ、給餌後しばらくすると当日中に複数頭のシカの出沒が確認され、その餌の消失と共に出沒が減少してしまうことから、実施日の当日午前中に給餌と音響装置の電池交換を行い、出沒と誘引が高まった時間に相当する夜間に実施することで、捕獲効率が向上できると考えられた。

3. 今後の実施方針

今回の実証で、音響装置によるニホンジカの音慣れの効果を一部確認できた。

一方で、シカの誘引については、捕獲するタイミングでの給餌効果の維持が重要と考えられるため、引き続きカメラによる出沒状況の観察を行いながら、捕獲日と給餌のタイミングを調整し、出沒数を高めた上で捕獲効率の向上に努める。

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

5 その他

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。